

だい き ほっかいどう し えんすいしんけいかく そ あん
第2期北海道ケアラー支援推進計画 [素案]
たい い けん ぼ しゅう けつ か い けん
に対する意見募集の結果 (こどもの意見)

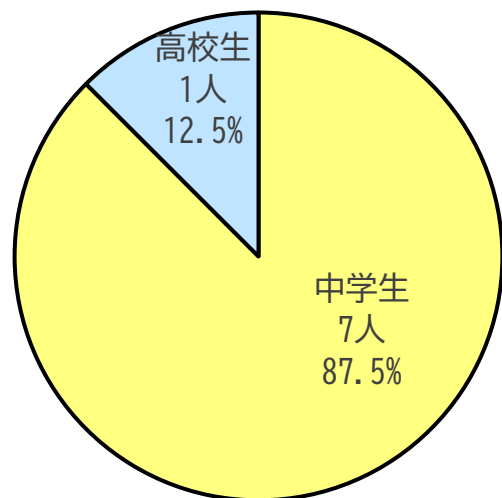
れい わ ねん がつ にち
令和8年 月 日

じっしきかん 実施期間	れい わ ねん がつ か 令和7年12月8日 から れい わ ねん がつ か 令和8年1月7日				
かいとうしゃすう 回答者数	8 人	い けん すう 意見数 せんたくしき (選択式)	8 件	い けん すう 意見数 じゅうきじゅつ (自由記述)	3 件

1 かいとうしゃ ねんだい
回答者の年代

しつもん ねんだい おし
【質問】 あなたの年代を教えてください。

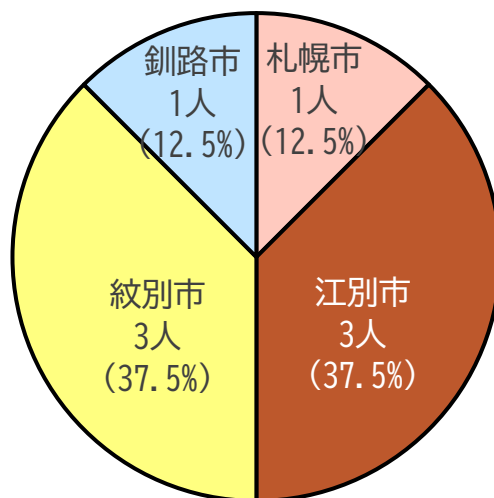
ねんだい 年代	にんずう 人数	わりあい 割合
しょうがくせい 小学生	0 人	—
ちゅうがくせい 中学生	7 人	87.5%
こうこうせい 高校生	1 人	12.5%
ごうけい 合計	8 人	



2 かいとうしゃ しちようそん 回答者の市町村

【質問】 あなたの^す住んでいる^{しちようそん おし}市町村を教えてください。

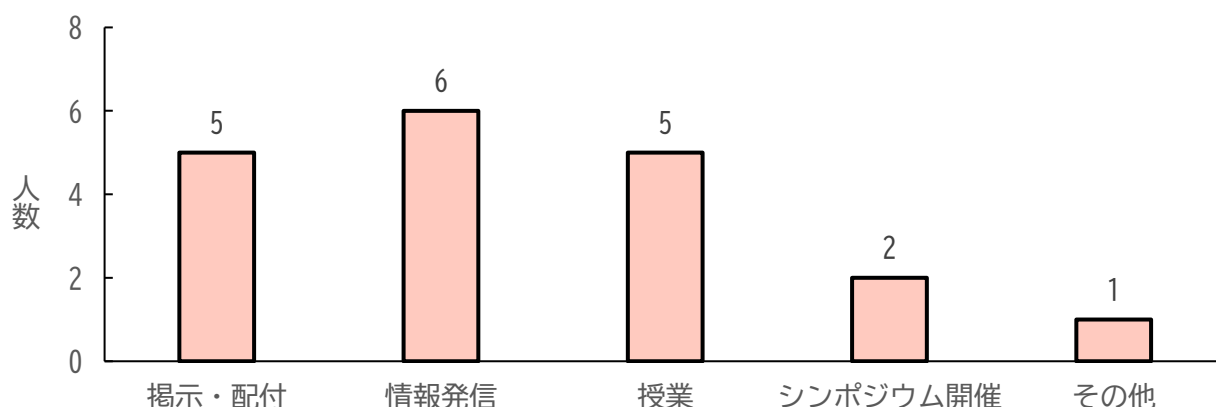
ねんだい 年代	札幌市	江別市	紋別市	釧路市
しょうがくせい 小学生	0人	0人	0人	0人
ちゅうがくせい 中学生	1人	3人	3人	0人
こうこうせい 高校生	0人	0人	0人	1人
ごうけい 合計	1人	3人	3人	1人
わりあい (割合)	12.5%	37.5%	37.5%	12.5%



3 第2期北海道ケアラー支援推進計画〔素案〕について

【質問1】 ケアラー・ヤングケアラーについて知るためには、何が必要
だと思いませんか？（5個まで選択可能）

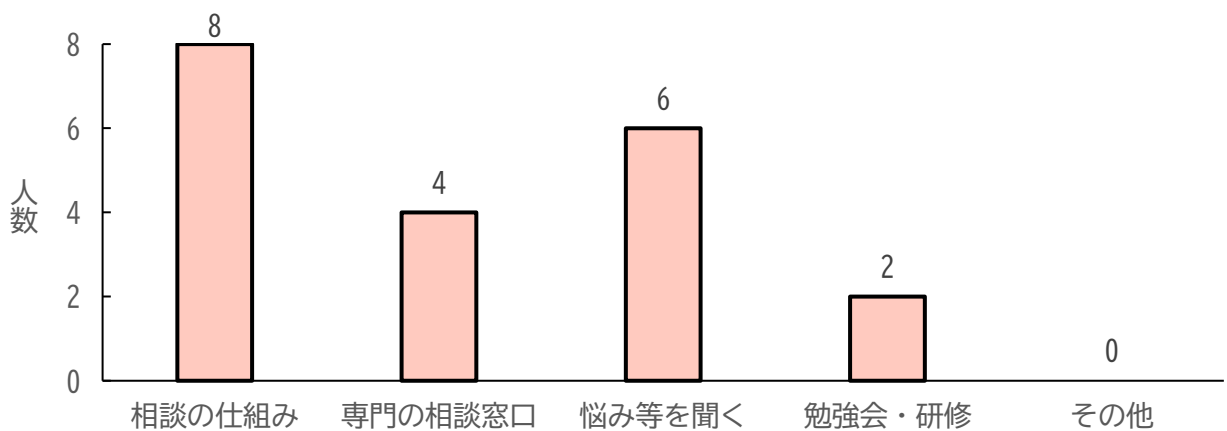
年代	ポスターや チラシなどの 掲示・配付	ホームページ や SNS での 情報発信	学校での 授業	シンポジウム (討論会) の 開催	その他
小学生	0人	0人	0人	0人	0人
中学生	4人	5人	4人	2人	1人
高校生	1人	1人	1人	0人	0人
合計	5人	6人	5人	2人	1人



みなさんの意見 からわかったこと	<p>ホームページや SNS での情報発信が必要と考える人が多いことがわかりました。</p> <p>また、ポスターやチラシなどの掲示・配付と学校での授業が必要と考える人も多いことがわかりました。</p>
意見の反映	<p>みなさんからの意見を参考に、次の計画でも引き続きケアラー・ヤングケアラーを知ってもらうための取組を進めていきます。</p>

【質問2】 ケアラー・ヤングケアラーに早く気づくためには、何が必要
だと思いませんか？（5個まで選択可能）

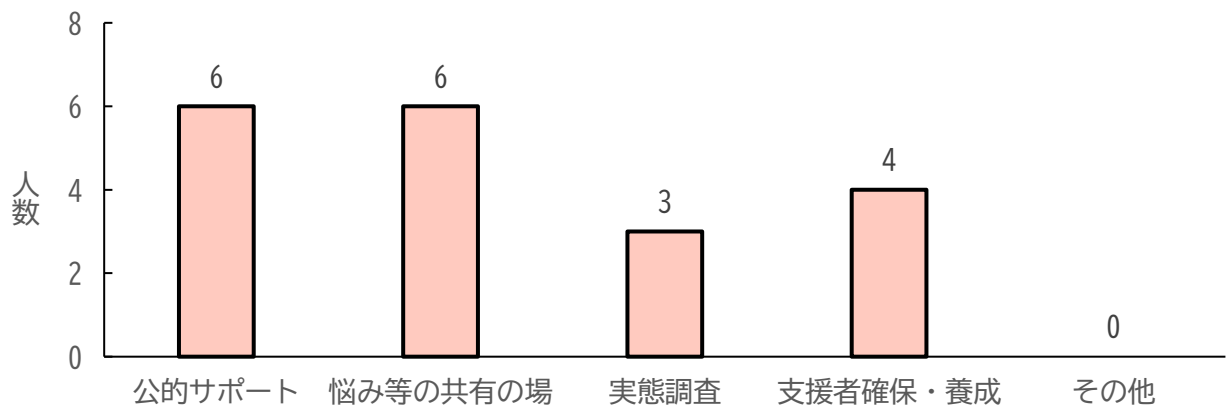
年代	まわりの大人に相談できる仕組み	ケアラー・ヤングケアラーに関する専門の相談窓口	家族のお世話をしている子から普段の生活や悩みにについて聞く	ケアラー・ヤングケアラーを支える人向けの勉強会や研修	その他
小学生	0人	0人	0人	0人	0人
中学生	7人	3人	5人	1人	0人
高校生	1人	1人	1人	1人	0人
合計	8人	4人	6人	2人	0人



みなさんの意見からわかったこと	まわりの大人に相談できる仕組みが必要と考える人が多いことがわかりました。
意見の反映	みなさんからの意見を参考に、次の計画でも引き続きケアラー・ヤングケアラーに早く気づいてあげて、相談しやすい人や場所をつくる取組を進めていきます。

【質問3】 ケアラー・ヤングケアラーをみんなで支えるためには、何が
必要だと思いますか？（5個まで選択可能）

年代	家事や学習の(公的)サポート	ケアラー・ヤングケアラー同士で悩みや経験を共有できる場	ケアラー・ヤングケアラーの実態を知るための調査	各地域での支援者やサポーターの確保・養成	その他
小学生	0人	0人	0人	0人	0人
中学生	5人	5人	2人	3人	0人
高校生	1人	1人	1人	1人	0人
合計	6人	6人	3人	4人	0人



みなさんの意見からわかったこと	家事や学習の(公的)サポートとケアラー・ヤングケアラー同士で悩みや経験を共有できる場が必要と考える人が多いことがわかりました。
意見の反映	みなさんからの意見を参考に、次の計画でも引き続きケアラー・ヤングケアラーを支えてあげられる地域をつくっていく取組を進めていきます。

【質問4】 自分やまわりの大人が家族の介護やお世話をするについて、
あなたが思うことや、考えることを教えてください。

意見の内容 いけん ないよう	意見に対する ほっかいどう かんが した 北海道の考え方
<p>頑張^{がんば}ってほしい^{おも}と思っている。 (中^{ちゅう}学生^{がくせい}・紋別^{もんべつ}市)</p>	<p>北海道では、次の計画^{けいかく}でも 引き続き^{つづ}ケアラー・ヤングケア ラーを支援^{しえん}する取組^{とりくみ}を進^{すす}めて いきます。</p>
<p>ヤングケアラーやケアラーのことを 私^{わたし}たちが「知^しる」ためには、ポスター やチラシの配^{はい}布^ふ・掲^{けい}示^じをしても、何^{なに}も しないよりはよいけど、あまり立^たち 止^どまってみたり、チラシをじっく^みり 見^{ひと}たりする人はほんとにわづかだ^{おも}と 思^{わたし}う。私^{わたし}もそのひとりで学^{がっこう}校^{がっこう}からの 配^{はい}布^ふ物をあまりじっく^より読^よんだりする ことはしないので「ヤングケアラーや ケアラーのことを知^しってもら^う」と いう観^{かん}点^{てん}で見^みたらポスターやチラシは 向^むいていないと思^{おも}うから、小^{しょう}中^{ちゅう}学^{がくせい}生^{せい} に知^しってもら^うためには授^{じゅ}業^{ぎょう}が一^{いち}番^{ばん} だと思^{おも}うしそうしたらやっぱり聞^きこう とする人^{ひと}も増^ふえて、効^{こう}果^か的^{てき}だと思^{おも}う。</p> <p>ヤングケアラーが「相^{そう}談^{だん}をしやす^く する」という観^{かん}点^{てん}で見^みるとチ^ちラシ^らを 学^{がっこう}校^{がっこう}などで配^くるとヤングケアラーの人^{ひと} は目^めに留^とまる機^き会^{かい}が増^ふえると思^{おも}う。</p>	<p>相^{そう}談^{だん}先^{さき}などを知^しってもら^う ために、北^{ほっ}海^{かい}道^{どう}ではポスターや リ^りーフ^ふレ^れッ^との掲^{けい}示^じ・配^{はい}付^ふなど を^{おこな}行^{こう}っています。</p> <p>そのほか、ケアラーやヤング ケアラーのことを知^しってもら^う ために、学^{がっこう}校^{がっこう}への出^で前^{ぜん}講^{こう}座^ざの 取^{とり}組^{くみ}をさら^{ひろ}に広^{ひろ}げていきま^すす。</p> <p>また、まわりの大人^{おとな}に相^{そう}談^{だん}を しやす^くする仕^し組^{くみ}みや環^{かん}境^{きやう}を 整^{ととの}えること、ケアラー・ヤング ケアラー同^{どう}士^しで悩^{なや}みを共^{きやう}有^{ゆう} できる場^ばをつく^{つく}っていきま^すす。</p>

<p> ヤングケアラーの^{そうきほつけん}早期発見について は、まわりの^{おとな}大人に^{そうだん}相談しやすくする 仕組み、^{かんきょう}環境を^{ととの}整えることがよいと 思う。ヤングケアラーは^{じかく}自覚がない 場合もあるようなので、^{じゅぎょう}授業をするこ とで、「そういえば、^{わたし}私あてはまる」と 思えるようになると^{そうだん}相談しやすくなる と^{おも}思う。 </p> <p> みんなでケアラーやヤングケアラー を^{ささ}支えるためには^{おな}同じケアラー^{どうし}同士で の^{なや}悩みの^{きょうゆう}共有が^{いちばん}一番よいと思う。^{おも}外部 から^{なに}何かを^い言われても^{けっきょく}結局は^{おな}同じ ^{きょうぐう}境遇の^{ひと}人で^{そうだん}相談したほうがちゃんと した^{かいけつさく}解決策が^み見えたりするし、^{きも}気持ち が^{らく}楽になりやすいと思う。 (ちゅうがくせい えべつし) (中学生・江別市) </p>	
<p> ポスターの^{けいじ}掲示や^{はいふ}配布をすることで ケアラーの方が^{かた}頼る^{たよ}場所があることを 知ることができたり^{ふだん}普段かかわらない 人もケアラーの^{そんざい}存在を知ることができ ると^{おも}思う。 </p> <p> また、^{がっこう}学校の^{じゅぎょう}授業に^と取り^い入れること でケアラーのことや^{じぶん}自分が^{なに}何をできる か^し知ることができると^{かんが}考える。 (ちゅうがくせい えべつし) (中学生・江別市) </p>	<p> ^{ほっかいどう}北海道では、^{ふきゅうけいはつ}普及啓発の^{ほうほう}方法 の一つとして、^{ひと}ポスターやリー フレットの^{けいじ}掲示・^{はいふ}配付などを ^{おこな}行っています。 </p> <p> また、ケアラーやヤングケア ラーの^しことについて知って もらうために、^{がっこう}学校への^{でまえ}出前 ^{こうざ}講座をさらに^{ひろ}拡げていきます。 </p>